

今年も「鮭の放流事業」に参加しました



栗山川サケ放流事業推進連絡協議会が栗山川漁協の協力の下行われている、サケの里親事業。

第二松丘園は今年も鮭の「里親」として参加しました。

新館の玄関に水槽を設置し、栗山川で捕獲された343匹のサケから採卵された受精卵をふ化させ、約2か月間かけて、約3～5センチの大きさになるまで育ててきました。

3月10日の放流式では、地元の皆様を始め近隣の小学校の生徒、各種団体、事業所の関係者が育てたサケを持ち寄り、漁協が用意したサケと合わせて約13万匹のサケを栗山川に放流しました。



第二松丘園からは、グループホームの利用者様3名が第二松丘園の代表として参加しました。



この日放流したサケの稚魚は3～5年かけて、1万キロ以上に及ぶ旅に元気に出発していきました。

